

I 第34週の発生動向 (2015/8/17~8/23)

1. 手足口病については、五所川原保健所管内を除くすべての保健所管内で**警報**が継続しています。
2. ヘルパンギーナについては、患者報告数が前週の58人から68人に増加しました。今後の発生動向に注意が必要です。
3. レジオネラ症については、五所川原保健所管内で1人の患者報告がありました。

II 第34週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県感染症発生動向調査 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東青 (東地方保健所・青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (八戸保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
	小児科 内科														
インフルエンザ															0
RSウイルス感染症			1	0.11	6	0.60			2	0.33			9	0.21	-5
咽頭結膜熱	1	0.13			3	0.30	1	0.20	1	0.17	1	0.25	7	0.17	-1
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	0.25	9	1.00	12	1.20			1	0.17			24	0.57	-4
感染性胃腸炎	20	2.50	8	0.89	6	0.60	14	2.80	12	2.00	10	2.50	70	1.67	11
水痘					1	0.10	3	0.60					4	0.10	-5
手足口病	79	9.88	144	16.00	106	10.60	24	4.80	137	22.83	60	15.00	550	13.10	88
伝染性紅斑			3	0.33					8	1.33	2	0.50	13	0.31	2
突発性発しん	7	0.88	4	0.44	6	0.60	2	0.40	3	0.50	5	1.25	27	0.64	4
百日咳															0
ヘルパンギーナ	18	2.25	19	2.11	7	0.70	7	1.40	6	1.00	11	2.75	68	1.62	10
流行性耳下腺炎	1	0.13	1	0.11					1	0.17	1	0.25	4	0.10	-4
眼科															
急性出血性結膜炎															0
流行性角結膜炎	1	0.50	1	0.33	3	1.50	1	1.00	3	1.50			9	0.82	6
基幹															
クラミジア肺炎															0
細菌性髄膜炎															-1
マイコプラズマ肺炎					2	2.00					1	1.00	3	0.50	1
無菌性髄膜炎															-1
感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0

は警報、は注意報。「空欄」:患者発生無し。

III 全数把握疾患(掲載数は最新情報)

- ・結核(二類全数把握疾患):東地方+青森市3人、弘前1人、五所川原1人、上十三1人(2015年計:195人)
- ・レジオネラ症(四類全数把握疾患):五所川原1人(2015年計:2人)
- ・アメーバ赤痢(五類全数把握疾患):東地方+青森市1人(2015年計:7人)

IV 病原体検出情報 ※( )内は、検査材料及び検体採取日、検出数です。

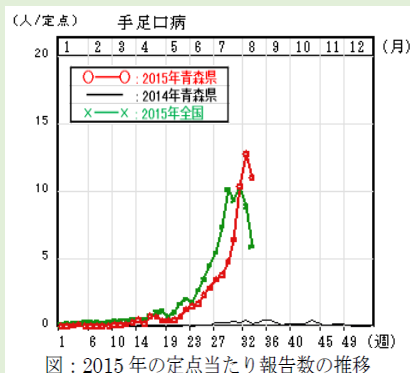
- ・手足口病患者(咽頭ぬぐい液、7/6)・・・コクサッキーウイルス C16型:弘前(1)
- ・上気道炎患者(咽頭ぬぐい液、7/4)・・・ヒトライノウイルス A:八戸(1)
- ・下気道炎患者(咽頭ぬぐい液、7/4)・・・ヒトライノウイルス及びヒトパラインフルエンザウイルス 1型:八戸(1)

感染症の窓

手足口病 (五類定点把握疾患)

注意してください!

手足口病の原因は、主にコクサッキーウイルス A6、A16、エンテロウイルス 71 で、感染して3~5日後に、口の中、手足などに2~3mmの水疱性発疹が出ます。子どもを中心に夏に流行します。発熱は約3分の1に見られますが、あまり高くなり(38℃以下)、ほとんどの発症者は数日中に治ります。



今年は手足口病の発生が春から全国的に増加し、第31週(7月末~8月始め)に定点当たり報告数が10.26のピークを示しました。一方、青森県では第32週(8月上旬)に定点当たり報告数が12.79と全国を上回るピークを示しました(左図)。第34週現在、五所川原保健所管内を除く全ての保健所管内で警報が出されており、今後も注意が必要です。

感染経路は、飛沫感染、接触感染、糞口感染(便の中に排泄されたウイルスが口に入って感染すること)で、特にこの病気にかかりやすい年齢層の乳幼児が集団生活をしている保育施設や幼稚園などでは注意が必要です。感染対策は、接触感染を予防するために手洗いをしっかりとすることと、排泄物を適切に処理することです。十分注意をしてください。

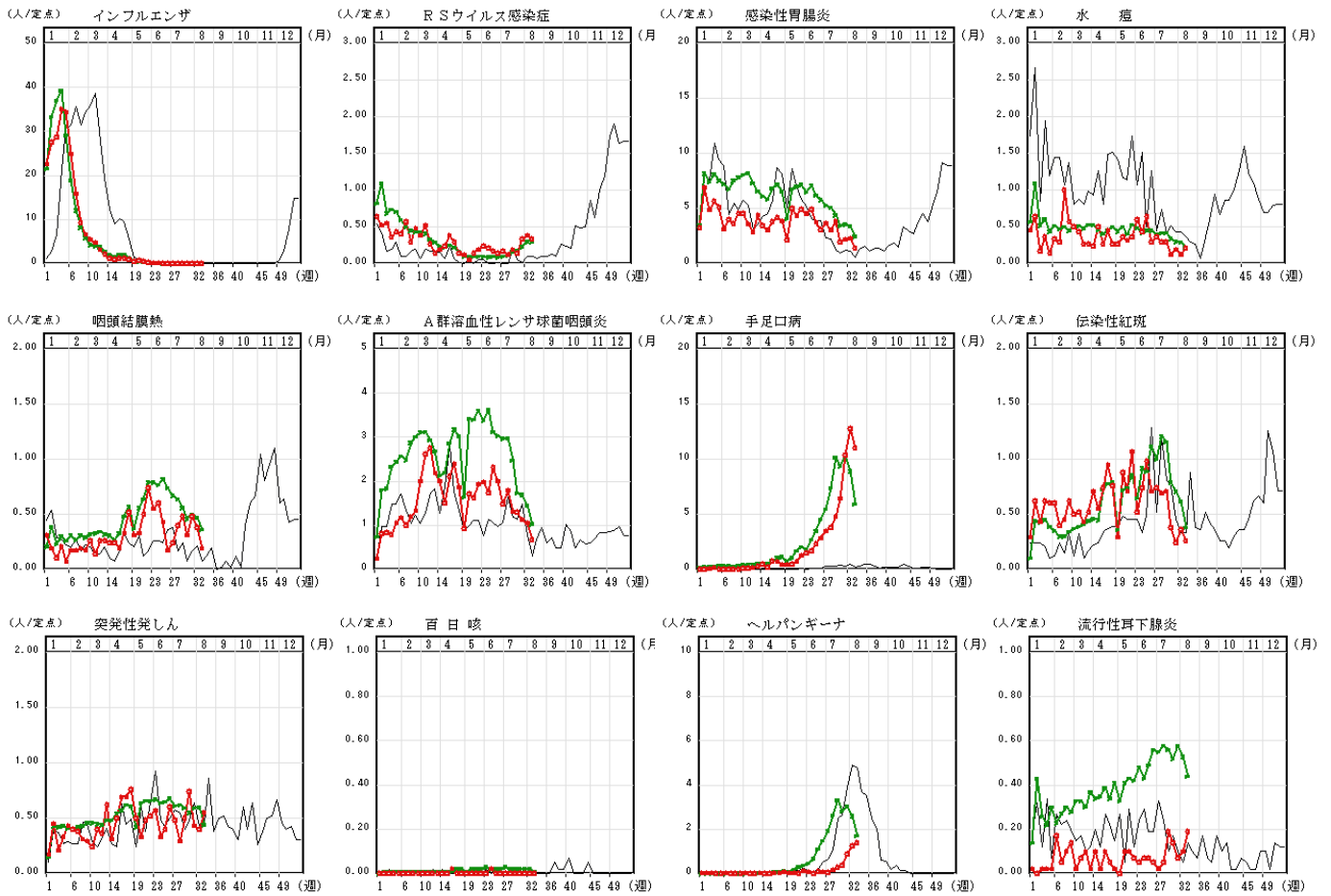
厚生労働省のホームページに「手足口病に関するQ&A」(<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/hfmd.html>)が掲載されています。

【参考】厚生労働省 HP、国立感染症研究所 HP

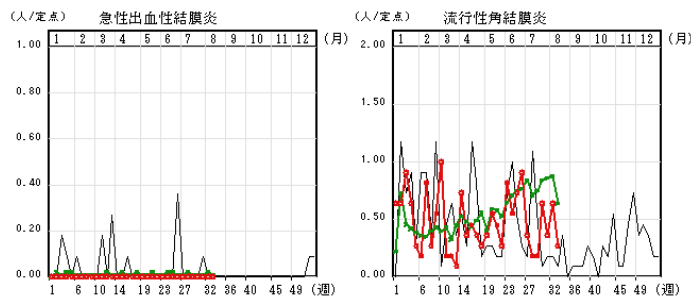


## VIII インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 (2015年第33週)

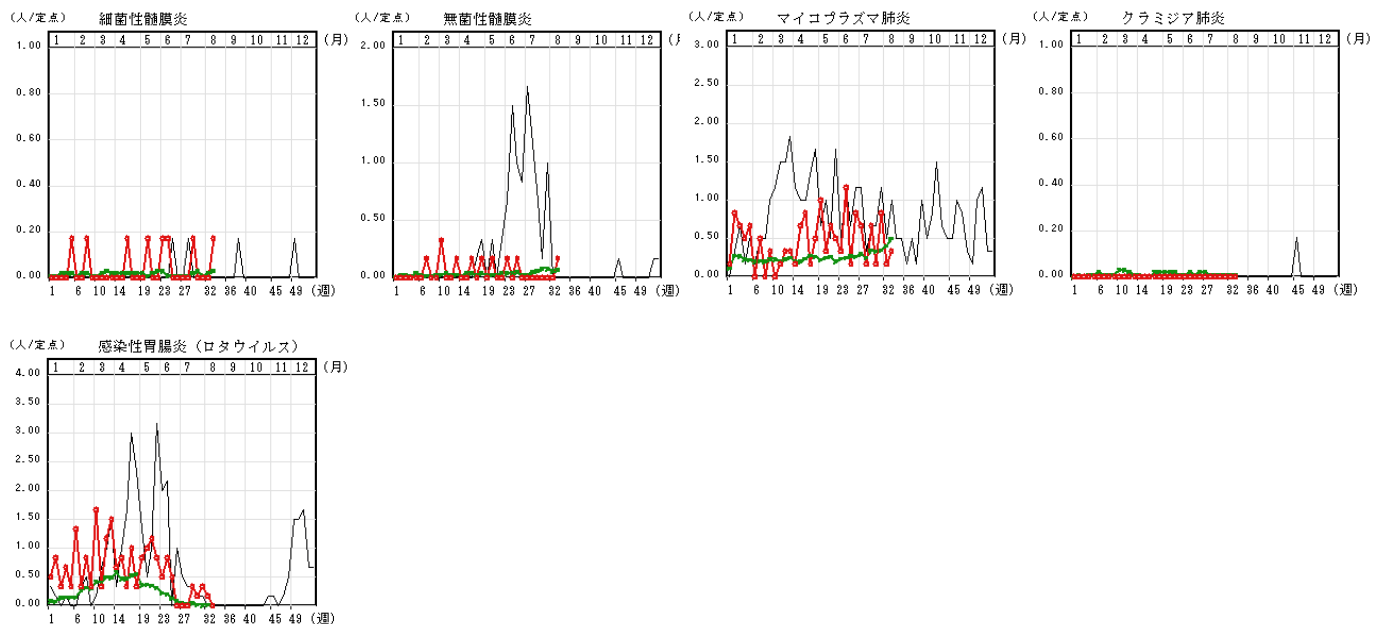
グラフの説明 ○—○は2015年青森県、——は2014年青森県、×—×は2015年全国



## IX 眼科定点把握疾患週別推移 (2015年第33週)



## X 基幹定点把握疾患週別推移 (2015年第33週)



## XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成17年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

第34週は報告がありませんでした。

### 平成27年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月				計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-13週	14-17週	18-22週	23-26週	27-30週	31週	32週	33週	34週	
介護・老人福祉関係施設	件数	7	5	1	0	2	0	0	0	0	0	0	15
	発症者数	107	94	47	0	27	0	0	0	0	0	0	275
児童・婦人関係施設等	件数	3	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	7
	発症者数	61	0	5	19	0	14	28	0	0	0	0	127
障害関係施設	件数	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2
	発症者数	0	0	10	0	0	16	0	0	0	0	0	26
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	10	5	3	1	2	2	1	0	0	0	0	24
	発症者数	168	94	62	19	27	30	28	0	0	0	0	428